

第68号 「現在・過去・未来」

令和2年1月6日

オリンピックイヤーが明けました。今年もよろしくお祈りします。

さて、タイトルの「現在・過去・未来」から渡辺真知子の「迷い道」を思い浮かべる人は、私とほぼ同年代の人でしょうか。昭和52年のヒット曲です。

♪現在 過去 未来 ～ ひとつ曲がり角 ひとつ間違えて 迷い道くねくね♪

当時15歳だった私は、「順番が違う、過去・現在・未来だ」と思っていました。当時からひねくれ者だったのかもかもしれません。

私が生まれた昭和という時代には戦争がありました。もちろん、私が生まれる前のことです。そして教員生活のほとんどをしめた平成という時代には、多くの災害が起こりました。平成7年1月17日の阪神淡路大震災や平成23年3月11日の東日本大震災をはじめとする大きな地震被害、さらには台風や豪雨など、未曾有の被害を出した災害が多発したという印象があります。島根でも、平成30年4月9日未明に、大田市西部を中心とする強い地震がありました。令和という新しい時代になっても、台風などによる災害が発生しています。

これらはほとんどが過去の出来事なのかもしれませんが、しかし、今でも心の傷が癒えない人たち、通常の生活に戻れていない人たちがたくさんいらっしゃることも事実です。人間は、他人事だと思えばすぐに忘れてしまいます。このような災害も含め、いかに自分の事として捉えるか、自分の立場に置き換えることができるかが大切だと思います。

私は、このような災害が起きたとき、命の尊さや当たり前前の存在の大きさに改めて気づかされます。空気、水、電気、あるいは家族、そして周りに生かされている自分自身など。それらの存在を普段意識しているのでしょうか。大切に生きていますでしょうか。

2018年6月23日の沖縄戦没者追悼式で、平和と当たり前前に生きられる幸せについて、当時中学3年の女子生徒が朗読した自作の詩「生きる」から、一部紹介します。『平和とは、あたり前に生きること。その命を精一杯輝かせて生きること。私は今を生きている。みんなと一緒に。そしてこれからも生きていく。一日一日を大切に。なぜなら、未来はこの瞬間の延長線上にあるからだ。つまり、未来は今なんだ。・・・』

過去があるから現在があります。現在を精一杯生きるからこそ未来が拓けます。今ある当たり前前の存在に感謝しながら、今を大切に生きること。令和という時代を明るく平和な時代とするため、今を生きる私たち一人一人が、常にこのことを忘れず生きていくことが大切だと考えます。